



トラブルシューティングガイド BF25D、BF30D

目次

- 警告灯が点灯／消灯した
- エンジンが始動しない
- エンジンが始動してもすぐ止まる／航走中
時々エンジンが止まる
- 船外機が落水した場合の対処
- エンジンスイッチで始動できない場合の対処
(付属の始動ロープによるエンジン始動)

このトラブルシューティングガイドは、お買いあげの船外機に付属している取扱説明書の説明内容を補助するものです。不明な点については、取扱説明書を参照してください。当ガイドの写真に映っている船外機は、お手持ちのモデルと異なる場合があります。当ガイドをお手元のデバイスにダウンロードし、いつでも見られるようにしておくことをお勧めします。

WEBマニュアル／取扱説明書PDF／店舗検索

<https://www.hondapps.com>

警告灯／表示灯の意味



オイル循環表示灯

運転中、エンジンオイルが正常に循環しているときは緑色のランプが点灯します。

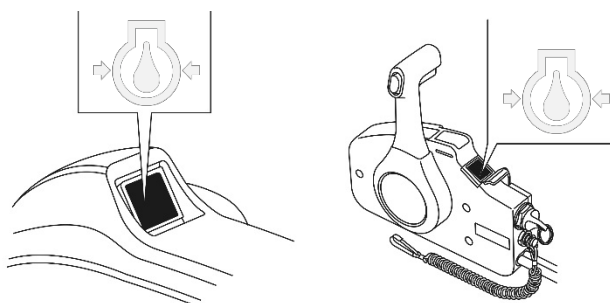
エンジンオイルの量が少なかったり、油圧系統に異常があったりすると消灯します。また、リモートコントロール仕様はブザーが吹鳴します。



オーバーヒート警告表示灯

運転中、エンジン冷却系統が正常な場合は消灯します。エンジンの冷却系統に異常があると赤いランプが点灯します。また、リモートコントロール仕様はブザーが吹鳴します。点灯時にはエンジンの回転が徐々に落ちます。

現象と対処



現象

オイル循環表示灯が消灯する

オイル循環表示灯が消灯する。

ブザーが連続音で鳴る。（リモートコントロール仕様のみ。1,400 rpm以下では音停止。）

処置

エンジンを止め、エンジンオイルの量を確認する。
エンジンオイル量が正常の場合、約30秒間アイドルで運転し、再び警告装置が作動しなければ正常。警告装置が作動し続ける場合はエンジンを、停止し、原因の究明と対処をおこなう。

考えられる原因と対処

エンジンオイルの不足。エンジンオイルを規定量まで補給する。

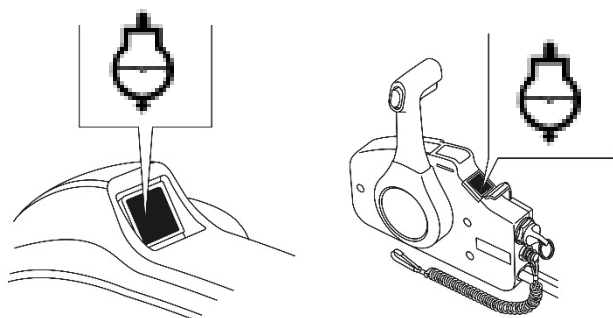
>方法を確認する

<https://www.hondapps.com>

推奨オイル以外のオイルを使用している。推奨オイルと交換する。

>方法を確認する

<https://www.hondapps.com>



現象

オーバーヒート警告表示灯が点灯する

オーバーヒート警告灯が点灯する。

ブザーが連続音で鳴る。（リモートコントロール仕様のみ。1,400 rpm以下では音停止。）

エンジン回転数が低下する。

処置

シフトレバーまたはコントロールレバーを“N”（中立）にし、検水口から冷却水が出ているか確認する。

冷却水が正常に出ている場合は、約30秒間アイドリングで運転し、再び警告装置が作動しなければ正常。警告装置が作動し続ける場合はエンジンを、停止し、原因の究明と対処をおこなう。

考えられる原因と対処

冷却水吸水口の詰まり。吸水口を清掃する。

点火プラグの品番のちがい。正しい点火プラグを取付ける。

[>方法を確認する](#)

<https://www.hondappsv.com>

- ウォーターポンプの不良。
- サーモスタットの詰まり
- サーモスタットの作動不良
- 冷却系水路の詰まり
- 排気ガスの冷却系への混入

サービス店に相談する。

キャブレターに燃料が送られてこない

考えられる原因	対処
燃料タンクに燃料がない。	給油する。  >方法を確認する https://www.hondapps.com
燃料タンクの通気ノブが開いていない	ノブを開く。
燃料ホースコネクターが正しく接続されていない	接続をしなおす。
燃料タンクフィルターが詰まっている	清掃する。   >方法を確認する https://www.hondapps.com
燃料フィルターが詰まっている	交換する。 >方法を確認する https://www.hondapps.com
燃料ホースの折れ曲がり	折れ曲がりをなおす。
燃料ポンプの作動不良	サービス店に相談する。

キャブレターに燃料が送られてくる

考えられる原因	対処
燃料の送り過ぎ、オーバーフロー	キャブレター内の燃料を抜く。  >方法を確認する https://www.hondappsrv.com
キャブレターの詰まり	サービス店に相談する。

スターターは作動するがエンジンが始動しない

考えられる原因	対処
点火プラグの汚れ	サービス店に相談する。
点火プラグの火花すき間の不良	調整する。 >方法を確認する https://www.hondappsrv.com
点火プラグの破損	交換する。  >方法を確認する https://www.hondappsrv.com
点火プラグキャップの取付け不良	点火プラグキャップを確実に取付ける  >方法を確認する https://www.hondappsrv.com
パルサーコイルの不良	サービス店に相談する。
高圧コードの電気リーク	サービス店に相談する。
CDI ユニットの不良	サービス店に相談する。
パワーコイルの不良	サービス店に相談する。
イグニッションコイルの不良	サービス店に相談する。

考えられる原因	対処
ワイヤーハーネスの不良	サービス店に相談する。
非常停止スイッチコードの電気リーク	サービス店に相談する。
非常停止スイッチの戻り不良	サービス店に相談する。
点火プラグの締付け不良	点火プラグを確実に締付ける。  >方法を確認する https://www.hondapps.com
非常停止スイッチクリップの取付け不良	クリップを確実に取付ける。

スターターが作動しない

考えられる原因	対処
ワイヤーハーネスの不良	サービス店に相談する。
シフトレバーまたはコントロールレバーが“中立”になっていない	レバーを“中立”にする。
ヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。  >方法を確認する https://www.hondapps.com

燃料タンクに燃料がある

考えられる原因	対処
燃料に水が混入している	サービス店に相談する。
燃料タンクの通気ノブが開いていない	ノブを開く。
燃料フィルターが詰まっている	交換する。 >方法を確認する https://www.hondappsv.com
エアスクリュウの開き過ぎ	サービス店に相談する。
アイドルリングの低過ぎ	サービス店に相談する。
キャブレターの詰まり	サービス店に相談する。
燃料ポンプの作動不良	サービス店に相談する。
燃料ポンプにエアが入っている	サービス店に相談する。
燃料ホース・コネクター・プライマーバルブからエアが入っている	サービス店に相談する。

オーバーヒート

考えられる原因	対処
冷却水吸水口網の詰まり	吸水口網を清掃する。
点火プラグの品番違い	正しい点火プラグを取り付ける。
ウォーターポンプの不良	サービス店に相談する。
サーモスタットの詰まり	サービス店に相談する。
サーモスタットの作動不良	サービス店に相談する。
冷却系水路の詰まり	サービス店に相談する。

水没した船外機は、腐食を最小限にとどめるため、できるだけ早く分解・整備をおこなってください。
サービス店が近くにある場合は、直ちにお持ちください。
サービス店が近くにない場合は、次に示す整備を行ってください。

ステップ 1 – 船外機の洗浄



1. エンジンカバーを取り外します。



2. きれいな水でエンジンを洗浄し、海水、砂、泥などを洗い流します。

ステップ 2 – 燃料を抜く



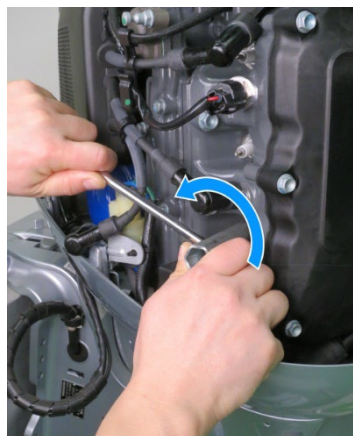
3. すべてのキャブレーターから燃料を排出します。排出した後、忘れずにキャブレターのドレンスクリューを締めてください。



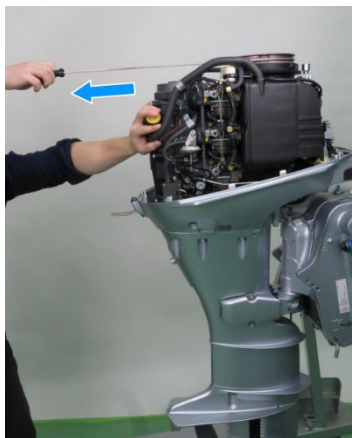
4. 非常停止スイッチクリップを外します。



ステップ 3 – エンジンシリンダーにオイルを注入



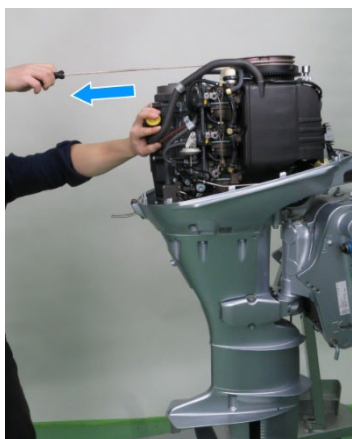
5. 点火プラグを取り外します。



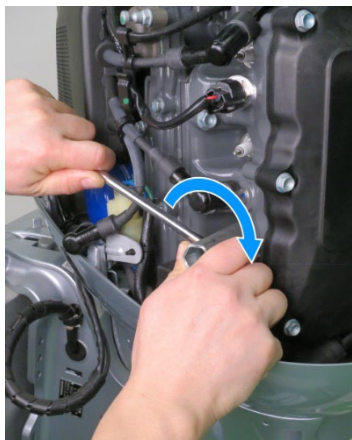
6. フライホイールカバーをとりはずし、付属部品の始動ロープで数回引っ張り、エンジンから水を排出します。始動ロープの取り付けかたは“エンジンスイッチで始動できない場合の対処”を参照してください。



7. 点火プラグ穴からエンジンオイルを注入します。



8. 数回始動ロープを引いてシリンダー内をオイルで潤滑します。作業後、始動ロープを取り外します。



18. 点火プラグを、ネジ山を壊さないように、まず指で軽くまでねじ込みます。手でいっぱい締めこんでから、工具で1/8—1/4回転締めつけます。

整備が済んだら、できるだけ早くサービス店で分解、整備を受けてください。

バッテリーが上がったときなどエンジンスイッチで始動できないときは、付属部品の始動ロープを使って次の手順でエンジンを始動します。



1. 非常停止スイッチのクリップを外します。



2. エンジンカバーを取り外します。



3. フライホイールカバーのボルト4本とワッシャーを外し、フライホイールカバーを取外します。



4. シフトレバーまたはコントロールレバーを“N”（中立）の位置にします。



5. 非常停止スイッチに非常停止スイッチクリップを取付け、エンジンスイッチキーを“ON”（運転）の位置にします



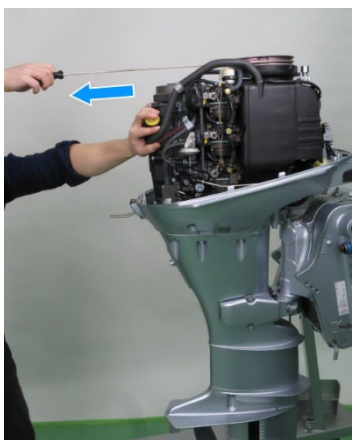
6. ティラーハンドル仕様：スロットルグリップが“始動”の位置になっていることを確認します。
リモートコントロール仕様：ファストアイドルレバーが“START”位置にあることを確認します。



7. 付属部品の始動ロープの結び目をACGローターの切り欠きに引っかけます。



8. ロープを溝にそって時計方向に巻き付けます。



9. 始動ロープを静かに引いて、重くなったところで周囲に十分注意して強く引っ張り、エンジンを始動させます。



14. エンジンが始動したら
フライホイールカバー
は取付けずに、エンジ
ンカバーを取付け、確
実にロックします。